

公共放送ワーキンググループ  
(第21回)  
説明資料

2024/5/23

1. はじめに
2. NHKの放送・インターネットによる国際発信の現状
3. NHKの国際共同制作の取り組み
4. おわりに

# 1. はじめに

放送においても、インターネット上においても、安全安心を支え、あまねく伝えることで、健全な民主主義の発達に資するという、公共的な役割を果たしていく  
基軸は「『情報空間の参照点』の提供」と「『信頼できる多元性確保』への貢献」

## 01 今、NHKに求められていること

究極の使命は、「健全な民主主義の発達に資する」こと（放送法第1条）

### 今、日本の公共放送（メディア）NHKに何が求められているのか

公共放送（メディア）をとりまく環境が大きく変化しています。

自然災害の激甚化が進むなか、視聴者・国民のみなさまの命と暮らしを守る緊急報道の重要性はこれまで以上に増えています。また、デジタル化の加速は社会の利便性を高めた一方、フェイクニュースのまん延で社会の混乱を招くなど、負の側面が課題となっています。“正確で信頼できる情報”への期待は、一層高まっています。

世界では、ロシアによるウクライナ侵攻をめぐって、政府から独立して公平公正な報道等を行い、「健全な民主主義の発達に資する」という公共放送の役割が再認識されています。

公共放送であるNHKも、情報空間の健全性を確保することで、平和で豊かに暮らせる社会を実現し、民主主義の発展に寄与することが求められています。

こうした経営環境の中で、NHKは次の3か年において、2つの基軸をもとに公共放送の役割を果たしていきます。

ひとつは「情報空間の参照点」を提供することです。インターネット上で不確かな情報があふれるなか、視聴者・国民のみなさまにとっての“よりどころ”となる、正確で信頼できる社会の基本的な情報を提供したいと考えています。

もうひとつは「信頼できる多元性確保」に貢献することです。民主主義の基盤である多角的な視点を確保するために、情報空間において、伝統メディアが競い合いそれぞれの信頼性を高めることに寄与したいと考えています。

「情報空間の参照点」の提供

信頼できる基本的な情報を提供すること

「信頼できる多元性確保」への貢献

民主主義の基盤である多角的な視点

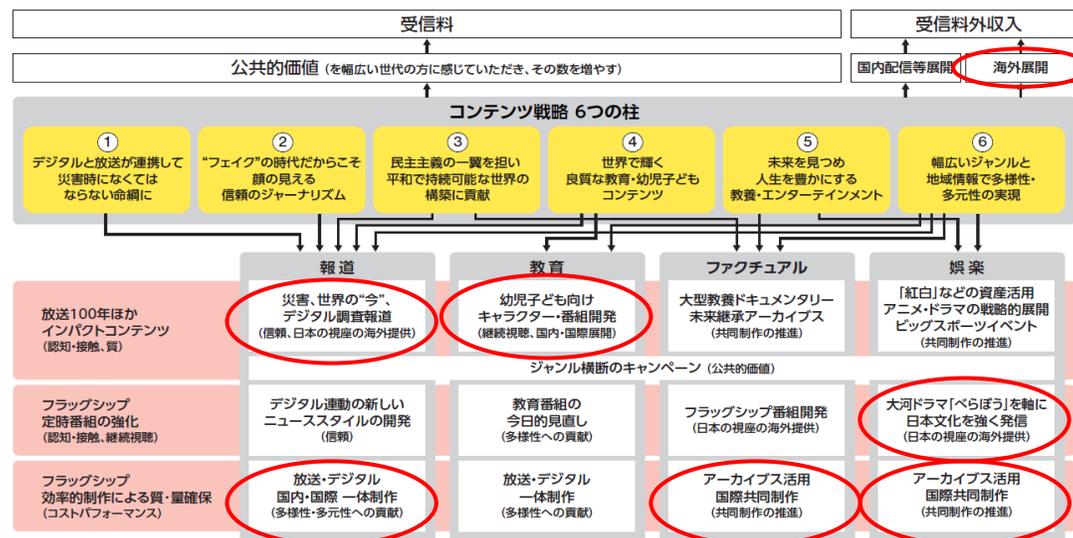
「放送、デジタル、展開。すべてをコンテンツ起点で考える」

コンテンツ戦略 6つの柱と、インパクトコンテンツ、定時番組の強化、効率的制作による質・量確保

⇒ 「日本の視座の海外提供」「国際展開」「国内・国際一体制作」「国際共同制作」などを推進

## 02 今、NHKが目指すべきこと

適切な資源管理とテクノロジーの力で、コンテンツの“質・量”を確保  
世界的インフレ、厳しい財政状況のなかでも、1割値下げした受信料額を堅持



放送、デジタル、展開。すべてはコンテンツ起点で考える

～メディア(波)は削減し、コンテンツに集中(衛星、ラジオを整理) / 先端テクノロジーの活用でコンテンツ制作環境を高度化～

グローバル展開については、「国際発信(フロー)」と「国際展開(ストック)」双方を強化

⇒ 視聴環境が変化する中においても、「日本の視座」を発信するなど、公共放送の役割を果たしていく

## 03 地域からグローバルまで ～民主主義の健全な発展に貢献～

地域

- 厳しい財政状況のなかでも、価値の源泉である、取材・制作の基盤的資源へ投資
- 災害対応、地域取材を基軸に、一律化することなく、それぞれの地域に合った形態でサービスを展開していく

(参考) 経年実施の「地域指標調査」から  
各地の地域問題に対する意識は、ここ数年で「風水害」「安全保障」「教育」などが相対的に上昇

⇒NHKの地域サービスへの期待は、災害対応と地域取材が核



国際

### 国際発信(フロー)

- 戦略的に強化してきたニュース・情報発信を、今日的な問題・関心のもと、再強化
- 視聴環境の変化に合わせ、デジタルもフル活用

⇒分断、民主主義の危機が進むなか、  
国際発信を再強化し「日本の視座」を発信

### 国際展開(ストック)

- 各国で浸透するOTT<sup>®</sup>ほか、コンテンツの流通革命に合わせ、戦略的に制作・展開の可能性を探る  
→結果、副次収入増等にも貢献
  - 米国ハリウッド等との本格協業による社会派ドラマ
  - 黎明期<sup>れいめいき</sup>の名作も含めた“NHKアニメ”の多面展開等
- ⇒世界各国で多様な消費をされるコンテンツ市場で、「日本の視座」を発信

\*インターネットを通じて提供されるコンテンツ配信サービス

## 2. NHKの放送・インターネットによる国際発信の現状

## 《編集の基本方針》

緊迫が続くウクライナや中東をめぐる情勢、米中対立など、世界は混迷の度を深め、情報の氾濫や偏りにより、社会の混乱や分断が進んでいます。

NHKの国際放送は、信頼される公平・公正で確かな情報を日本の視点から発信し、民主主義の一翼を担うとともに、平和で持続可能な世界の構築に貢献します。

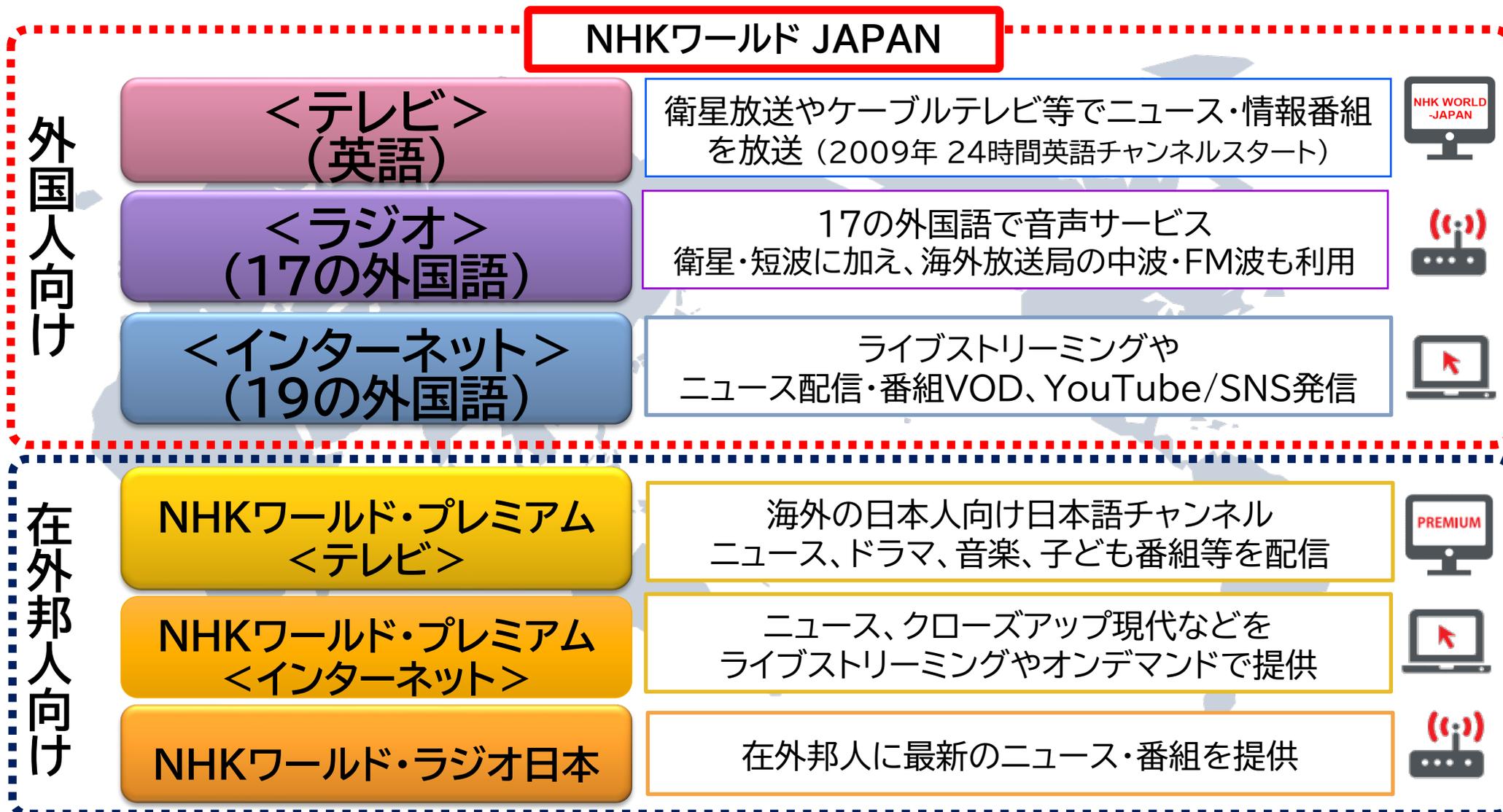
公共に資する良質なコンテンツを効果的・効率的に世界に届けるため、国内放送との連携を一層強化し、多様なプラットフォームでの展開を進めます。

災害時の安全・安心情報など、訪日・在留外国人に向けた情報発信も充実させ、多言語で広く迅速に届けます。

## 《2024年度 重点事項》

1. 日本の視座に立った信頼される確かな情報を発信  
分断が進む国際社会に多角的な視点を提供し、相互理解に貢献
2. 日本の多様な魅力や価値を伝え、日本への理解を促進するとともに  
グローバルな課題への先進的な取り組みを発信し、世界に貢献
3. 国内放送との連携やデジタル活用により、効率的な展開を推進
4. 訪日・在留外国人向けに、安全・安心を支える情報発信を充実

○ 国際放送・発信は、限られた予算の中で外国人／邦人向け、多言語展開など、特有のニーズに対応する必要がある。



# テレビ国際放送・配信の受信世帯数等

NHK  
WORLD  
JAPAN

## NHKワールド JAPAN

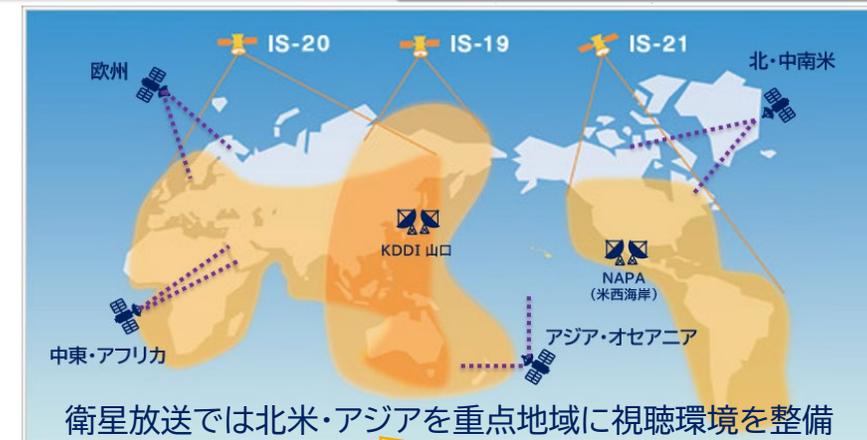
### 【放送】

各地の衛星放送のほか、CATV、IPTVなどを通じて約160の国と地域の4.2億世帯で視聴可能(2024年3月末現在)

### 【配信】

海外事業者を通じたOTT配信を2021年に開始約9,200万世帯で視聴可能(2024年3月末現在)

\*公式ウェブサイト・アプリでは全世界に放送の同時配信(24時間)およびオンデマンド配信を配信しているほか、Apple TVやAmazon Fire TV、ROKUなどテレビに接続する機器向けのアプリを提供し配信するなど配信手段を多様化し、インターネットでの視聴に誘導するよう周知広報に取り組んでいる。



視聴可能世帯数は  
3.3億(2018年)⇒4.2億(2023年)に拡充

NHK  
WORLD  
PREMIUM

## NHKワールド・プレミアム

### 【放送】

約110の国と地域の2,200万世帯で視聴可能(2024年3月末現在)

### 【配信】

海外事業者を通じたOTT配信を、欧州で2023年10月、北米で2024年4月に開始  
視聴可能世帯数は集計中

# 外国人向け／テレビ国際放送の番組編成①

- 日本やアジアの情報を取り上げたニュースや多彩な番組を1日24時間、世界に向けて英語で発信
- 「毎時ニュース＋一般番組」の5～6時間セットを4～5回ループで編成し、各国の好適視聴時間に効率的に対応（ニュースは最新の情報）
- テレビ国際放送に係る経費は2024年度予算で194.6億円 ※人件費、減価償却費を含む ※在外邦人向けを含む

## 【編成のイメージ（日本時間）】

9	00	NHK NEWSLINE
	30	Journeys in Japan(紀行)
10	00	NHK NEWSLINE
	30	Dining with the Chef(食)
11	00	NHK NEWSLINE
	30	Document 72 Hours(ドキュメンタリー)
12	00	NHK NEWSLINE
	30	Medical Frontiers(医療)
13	00	NHK NEWSLINE
	30	DEEPER LOOK(インタビュー)

9	}	
13		
14	}	//
18		
19	}	//
23		
⋮		
⋮		
⋮		

## 【2024年度編集方針】

### NHKワールド JAPAN テレビ(英語・外国人向け放送)

- 日本の視座に立った信頼される確かな情報で世界に貢献
  - ・日本の視点やアジアの立地を生かしたニュースや、専門性を生かした深い解説を強化し、世界の視聴者の理解を助ける情報を提供する
  - ・国際放送のフラグシップとなるドキュメンタリー枠を新設
  - 調査報道番組も充実させ、グローバルな課題に向き合う
- 日本の魅力や取り組みを伝えるコンテンツの充実
  - ・気候変動や高齢化社会などグローバルな課題について日本の先進的な取り組みを発信し、持続可能な社会の構築に寄与
  - ・インバウンドの復活を受け、日本の地域や文化の魅力・価値を掘り下げる
- 国内放送との連携やデジタル活用により、効率的な展開を推進
  - ・企画段階からの一体化制作など、国内番組との連携を強化
  - ・NHKスペシャルなどドキュメンタリー番組の英語化を拡充
  - ・VODやSNS・外部プラットフォームなどへの展開を強化し、効果的・効率的に提供
- 訪日・在留外国人向け情報発信の充実
  - ・訪日・在留外国人の安全・安心を支える情報を発信
  - ・多様性を支え相互理解を促進するコンテンツを強化

## ニュース・報道

前半に最新ニュース、後半はニュースを深掘り

00分 NHK NEWSLINE (最新ニュース)  
 15分 NEWSLINE IN DEPTH  
 /NEWSLINE BIZ

ニューヨークスタジオからも放送 (2021年～)



NYスタジオ



NHK NEWSLINE from New York

## アジア情報の発信

- 毎日、タイのバンコクからの中継で、アジアの最新情報を発信。
- ラジオ「Asian View」は、日本・アジアの最新ニュースを5分にまとめて発信。



## 多彩な番組ラインナップ

360 DOCUMENTARY	Asia In-Depth	BIZ STREAM	DIRECT TALK
ドキュメンタリー	ドキュメンタリー	ビジネス	インタビュー
TIME OF TIDE	MEDICAL FRONTIERS	BOSAI Science that Can Save Your Life	SCIENCE VIEW
歴史教養	医療情報	防災情報	科学技術
Japanology	Journeys in Japan	Dive in Tokyo	HOMETOWN STORIES
文化・暮らし・世相	旅・紀行	東京の街×歴史	地域情報
Dining in Tokyo	WHERE WE CALL HOME	Easy Japanese やさしい日本語	ROCKIE
和食	多文化共生	日本語学習	教育
GRAND SUMO	TEEN REGINNE	J-MELO	ANIME MANGA EXPLOSION
大相撲	ドラマ	エンターテインメント	サブカルチャー

## 国内番組との連携

72 hours Document 72 Hours	The Professionals	Somewhere Street	Darwin's Amazing Animals
ドキュメント72時間	プロフェッショナル	世界ふれあい街歩き	ダーウィンが来た!

# 外国人向け／テレビ国際放送の番組編成③

## 経営計画の実現に向けたコンテンツ制作

日本の視座に立った信頼される確かな情報で国際社会に貢献



調査報道番組「Digital Eye」  
「北朝鮮 独裁国家の隠された“リアル”」



ウクライナ出身ディレクターのセルフ  
ドキュメンタリー「私の故郷 ウクライナ」



地球規模の課題解決に向けて提言する  
国際討論番組「GLOBAL AGENDA」



国際情勢や時事問題について識者の  
知見を伝える「DEEPER LOOK」

日本の多様な魅力や価値を伝え、日本への理解を促進



日本が誇る最新の医療技術を紹介  
「Medical Frontiers」



「もったいない」思想を具体化する  
取り組みを紹介「Zero Waste Life」



地域局制作番組の英語化で地域の  
情報を発信「Hometown Stories」



海外でも人気の作品やその舞台裏を紹介  
「ANIME MANGA EXPLOSION」

共生社会の実現



在留外国人の暮らしから共生社会の  
ヒントを探る「Where We Call Home」



在留外国人とつながる参加型番組  
「Chat Room Japan」



ニュースで日本語を学ぶ「Learn  
Japanese from the News」

良質な教育コンテンツ



国内の優れた教育コンテンツを発信する  
「Kids Edutainment」

# 外国人向け／テレビ国際放送の番組編成④



2024年度より国際放送のフラグシップ・ドキュメンタリー枠として「Documentary 360」を新設。「NHKスペシャル」「ETV特集」などの英語版や、国際放送の独自番組から厳選したラインナップで、日本ならではの視点やグローバルな課題に対する取り組みなどを世界に向けて発信している。

## 【2024年度 既放送番組】

放送日	日本語タイトル	国内連携
4/6	ルポ「死亡退院」	ETV特集 英語化
4/7	世界に響く歌 日韓POPS新時代	NHKスペシャル 英語化
4/13	ゲームプラネット	BSスペシャル 英語化
4/14	戦場のジーニャ ～ウクライナ 兵士が見た”地獄”	NHKスペシャル 英語化
4/20	わが娘を手放した日 中国”一人っ子政策”のその後	BSスペシャル 英語化
4/21	映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編	NHKスペシャル 英語化
4/27	人新世 ある村にて	ETV特集 英語化
4/28	映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 後編	NHKスペシャル 英語化
5/4	立つ女たち ～女性議員15%の国で	国際放送独自
5/5	戦火の放送局Ⅱ ～ウクライナ うつりゆく”正義”	NHKスペシャル 英語化
5/11	福島モノローグ	国内国際共同採択
5/12	ドキュメント”宗教2世”を生きる	NHKスペシャル 英語化



「立つ女たち ～女性議員15%の国で」



「福島モノローグ」



「戦場のジーニャ ～ウクライナ 兵士が見た”地獄”」

- 17の外国語で全世界にニュースや最新情報、話題を発信
- 衛星・短波に加え、海外放送局の中波・FM波も利用
- ラジオ国際放送に係る経費は2024年度予算で45億円 ※人件費、減価償却費を含む ※在外邦人向けを含む

English 英語	اللغة العربية アラビア語	বাংলা ベンガル語	မြန်မာဘာသာ ビルマ語	华语 中国語	Français フランス語
हिन्दी ヒンディー語	Bahasa Indonesia インドネシア語	코리언 ハングル	فارسی ペルシャ語	Português ポルトガル語	Русский язык ロシア語
Español スペイン語	Kiswahili スワヒリ語	ภาษาไทย タイ語	اردو ウルドゥー語	Tiếng Việt ベトナム語	



## 【2024年度編集方針】

### NHKワールド JAPAN ラジオ(17言語・外国人向け放送)

#### □多様なメディアの組み合わせによる情報発信

- ・インターネット配信、現地ラジオ局での再送信、短波、衛星放送など、地域の特性に合わせて最適な手段で情報を発信

#### □24時間の英語音声サービス

- ・テレビ英語放送のコンテンツをマルチ展開 衛星放送のほか、インターネットでも配信し、スマートスピーカーなどを通して広く提供

## NHKワールド・プレミアム <テレビ>

- ・ 海外在住、あるいは海外旅行中の日本人のために、国内で放送されているニュース・情報番組、ドラマ、音楽番組、子ども番組、スポーツ番組などから選んだ番組を編成
- ・ 海外の日本人の安全と安心に貢献



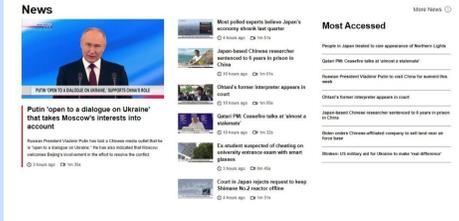
## NHKワールド・ラジオ日本

- ・ 在外邦人に向けて、ラジオ第1放送の番組の同時放送を基本に日本語で発信

# 外国人向けインターネットサービスの概要



英語テレビ放送のライブ配信  
9言語(10種類)でAI字幕を付与

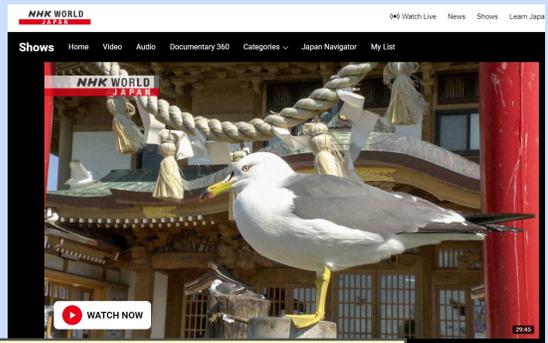


ウェブサイト ※19言語(20種類)



ニュース

Crews in southeastern Turkey near the border with Syria are searching in near-freezing temperatures to find survivors of earthquakes. At least 3700 people were killed.



VOD  
オーディオクリップ配信



SNS(英語) ※Facebookは10言語(11種類)



ニュースやショート動画、番組情報を発信  
2022年3月よりYouTubeでニュース番組のライブ配信をスタート

プッシュ通知 ※4言語(5種類)



アプリ ※19言語(20種類)



スマートフォン・タブレット

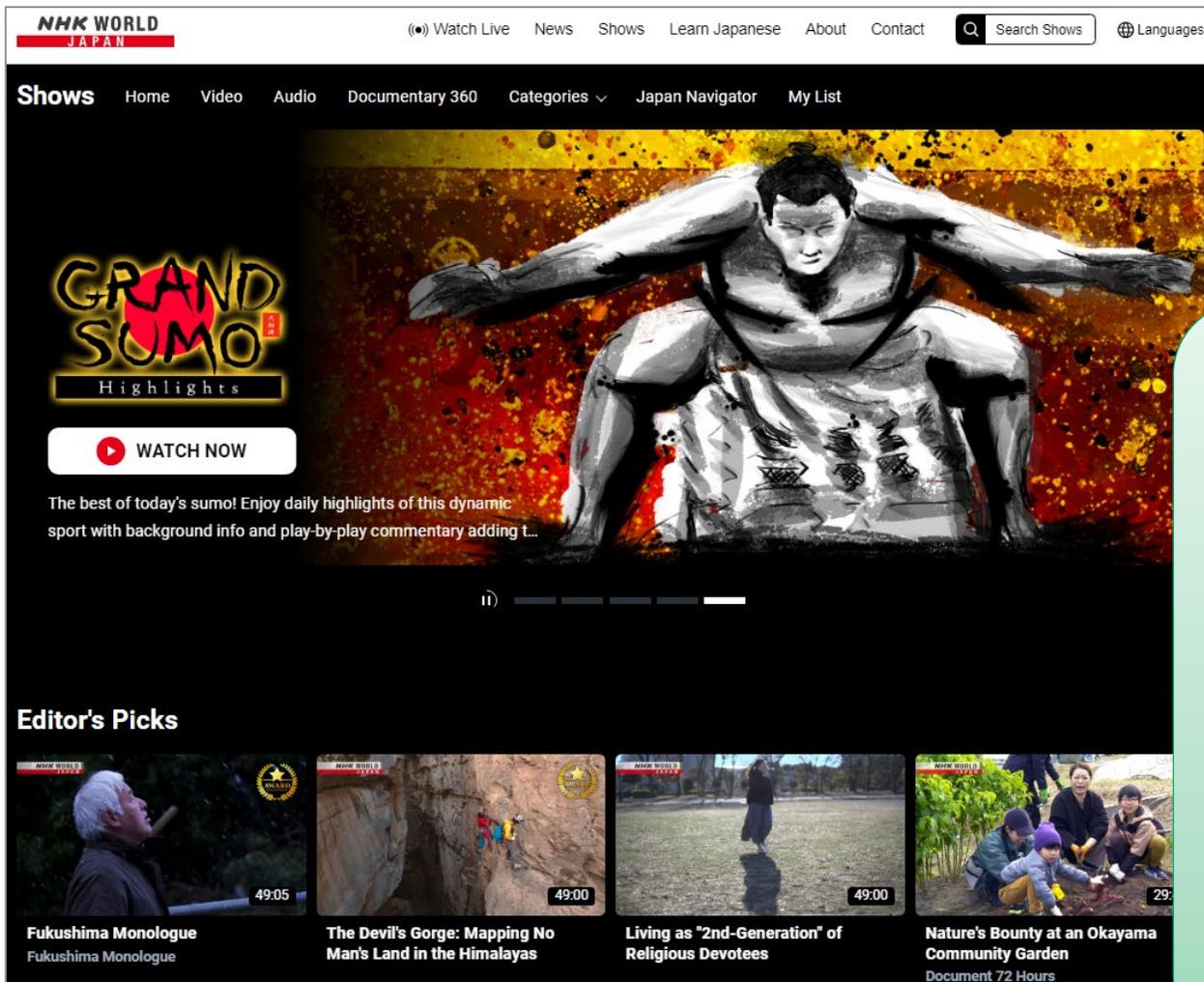
ホームページと同様、  
国際放送のニュースや番組を視聴可能



テレビ

# 外国人向けインターネットサービスの取組例 ～VOD（見逃し配信）～

番組のビデオ・オンデマンド配信は、番組数およびジャンルの拡大や提供期間の延長、多言語化/トランスクリプト付与など質量双方で充実強化を進めている。



19言語20種類で延べ約5,600本を無料配信  
(2024年3月末現在)

常時公開本数の平均は直近5年で  
3,683本(2019年度平均)⇒6,878本(2023年度平均)に倍増

## 反響の大きいコンテンツ例



### 「End-of-life Guardians」

(2023年3月放送)  
特別養護老人ホームで暮らし、お年寄りに寄り添う“看取り犬”の日々を取材。YouTubeの公式チャンネルでも紹介し、70万回再生された(2024年4月現在)



### 「Medical Frontiers: The Culprit Behind Osteoporosis」

(2022年2月放送)  
東洋医学も交え、骨粗しょう症の解説やリスクを下げる食品・運動を紹介。視聴UB数は世界で90万以上を記録。(2024年5月現在)



### 「Home is Where the War is」

(2024年2月放送)  
ウクライナ人であるNHKディレクターの帰国に密着。戦争と共に生きるウクライナの今を伝え、大きな反響が寄せられた。

# NHKワールド JAPANウェブサイト機能強化①

- 2024年3月、NHKワールド JAPANのウェブサイトについて、内容の拡充や新規サービス追加など機能を強化して一新
- 世界に向けてコンテンツの魅力をより効果的に発信し、日本の理解促進に資することを目指す

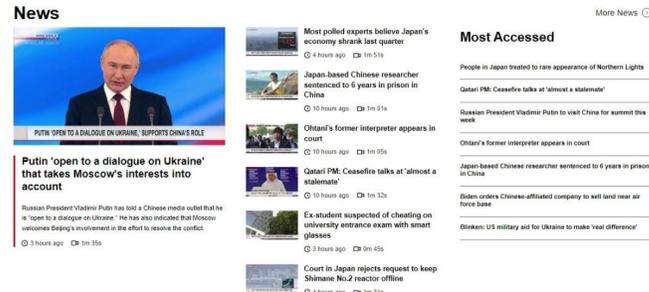
## トップページ

グローバルナビゲーションを採用し、操作性を向上。



検索機能を大幅に向上し、結果を関連度の高い順にソートする機能を追加。選択肢の幅を広げ、より利便性を高めた。

NHKワールド JAPANの多彩で豊富なコンテンツをグリッドで表示した。常に新しいエピソードに更新し、おすすめ番組や最新番組を紹介。



## Japan Navigator

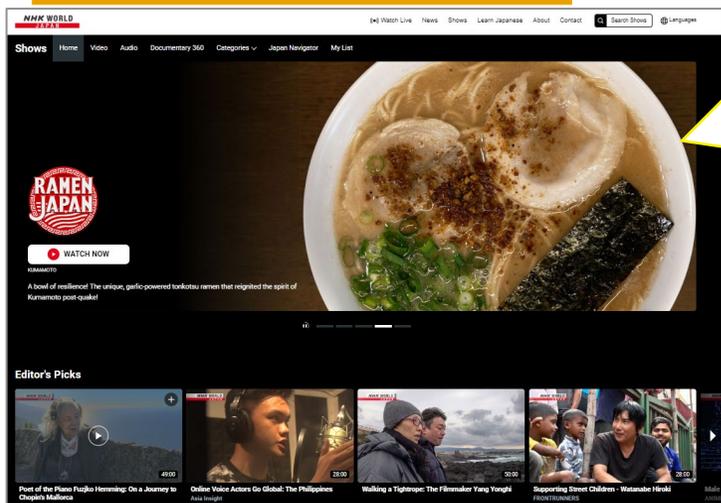
日本地図を活用した動画トラベルマップ。関心のある地域やテーマを選んで番組を視聴でき、訪日外国人に役立つ新サービスとして、訪問UB数が増えている。



日本の食、伝統工芸、神社仏閣、祭りなど、カテゴリーを表示

選択したカテゴリーでその地域に該当するコンテンツ数を表示

## VODサイト「Shows」



2,500本を超えるNHK WORLD-JAPANの放送番組を、ジャンルやカテゴリごとにまとめ、視聴者の関心に合わせて、より見やすい表示とした。

日本語教師向けのガイドも追加し、効果的に活用頂けるよう強化した。



## 日本語学習ポータルサイト「Learn Japanese」



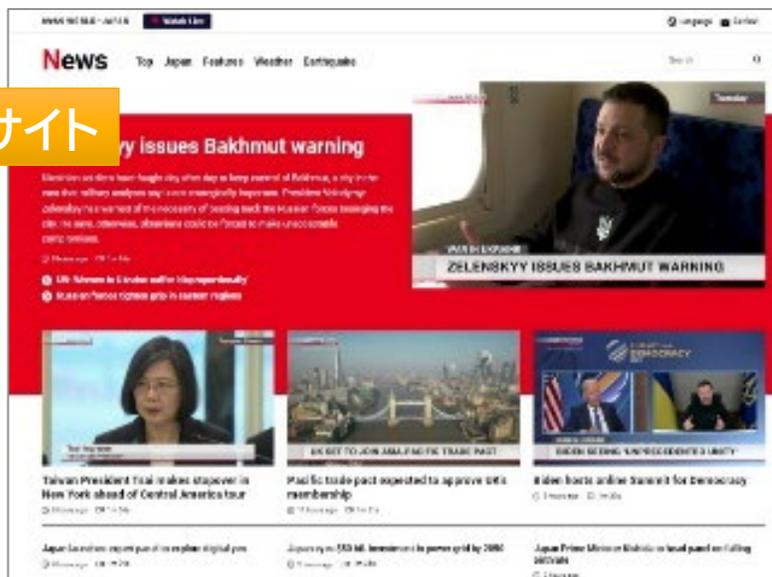
学習コンテンツを用途別にまとめて探しやすい表示。

## 多言語の地震・津波地図付き速報ページ



11言語のニュースサイトで自動作画の地図を配信。アプリのプッシュ通知をクリックするとこの画面に切り替わる。情報量を増やし、理解しやすく工夫した。

## ニュースサイト



# 災害時の迅速な報道と安全安心情報発信

- 世界に向けた迅速・正確なニュースと、訪日・在留外国人に役立つ安全安心情報を両輪で発信
- 大規模災害時は世界からNHKワールド JAPANウェブサイトへの訪問が急増。日本の災害情報や防災に関心が高い
- 経営計画“「命と暮らしを守る」報道の深化”に寄与

## 多言語によるニュース・防災情報 ポータルサイト



2024年4月開始。  
外国人の日本での生活  
や防災に役立つ情報を  
まとめた多言語ポータル  
サイト。  
やさしい日本語を含め  
20言語で展開。

大規模地震や津波警報  
時は各言語ニュースへ  
のリンクを自動的に上  
部に表示。

## 緊急情報の発信

- モバイルアプリで、日本国内の地震・津波情報を4言語(英語・中国語(簡体字・繁体字)・ベトナム語・ポルトガル語)で、ニュース速報を英語でプッシュ通知
- 11言語のニュースサイトに「震度5以上の地震」「注意報以上の津波」の気象庁電文を自動表示



## 令和6年能登半島地震での対応 ～訪日・在留外国人に役立つ最新情報を継続発信～

- テレビ、ラジオ、インターネットで、合わせて19の外国語で最新情報を発信
- 発災直後はスマホアプリで4言語(英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語)によるプッシュ通知で速報
- SNSを通じ10の外国語で避難を呼びかけ
- テレビ英語放送では特設ニュースを9時間あまり連続放送
- ライフラインや避難所など生活情報を英語で提供するウェブサイトを開設
- 被災地で話者の多い4言語(中国語、インドネシア語、ポルトガル語、ベトナム語)でも停電や断水時の対応、自治体の多言語相談窓口の情報 等を紹介



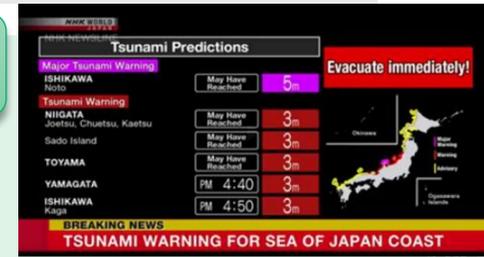
被災地の訪日・在留外国人に役立つ災害・生活情報の特設サイトを開設



ベトナム語Facebookで石川県多言語相談窓口を紹介



総合テレビ特設ニュースにAI英語字幕・読み上げ音声を付けてライブ配信



総合テレビでの速報2分後にはNHKワールド JAPANで特設ニュースを開始  
震度・津波の高さや該当地域などを総合波とずれなく英語表示し続けた

## ■AI多言語生字幕ライブ配信



ウェブサイトやアプリで視聴可能なNHK WORLD-JAPAN テレビライブ配信では、AIを活用し英語字幕を元に9か国語の多言語字幕にリアルタイム翻訳して提供

<提供言語>中国(簡・繁)、フランス、インドネシア、ハンガリー、ポルトガル、スペイン、ベトナム、ウクライナ、タイ

英語字幕

AI翻訳

多言語字幕

## ■ニュース記事の多言語化



プロ翻訳者がAI翻訳を下訳に活用して多言語ニュース制作を迅速化



## ■ビデオオンデマンド多言語字幕作成



VOD化された番組は放送台本(英語)から精度の高い英語字幕を自動生成トランスクリプトとしても活用

さらに多言語字幕(AI下訳)を生成手間のかかる多言語字幕制作を効率化

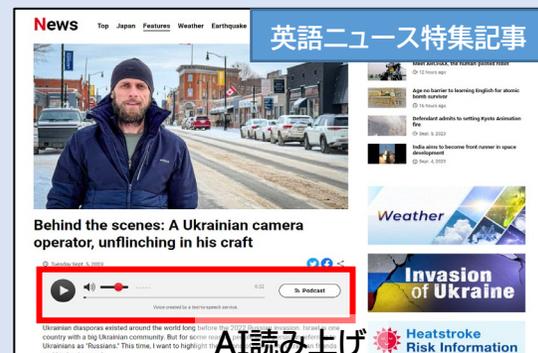
放送台本(英語)

AI翻訳

多言語字幕

## ■AI音声読み上げサービス

AI音声合成を利用した英語ニュース特集記事の読み上げサービスを開始



NHK総合緊急特設ニュース(日本語)にAIで英語字幕・読み上げを付けてライブ配信



- ◆ NHKワールド・プレミアム
- 邦人向けテレビ国際放送のニュース・番組は、一部を除き 海外向けにネットでも配信 (海外のみで視聴可能)
- 2023年10月、OTT配信を開始 (上記番組も含め、ワールド・プレミアムの全ての番組配信を外国OTT事業者を通じて視聴可能(有料))
- ◆ 邦人向けラジオ国際放送「ラジオ日本」の配信は、ニーズ等を踏まえ、2022年度末に終了



【邦人向けテレビ国際放送で配信しているニュース・番組】

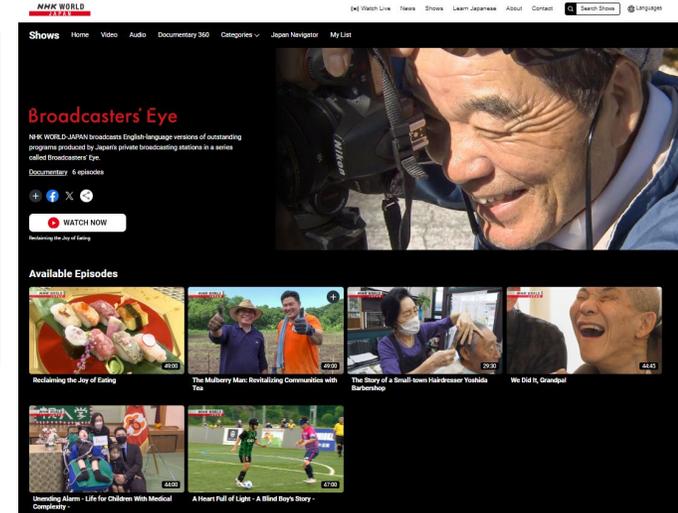
番組名	曜日	時間	配信内容
おはよう日本	月～土	6:00	同時配信・見逃し配信(1週間)
おはよう日本	月～日	7:00	見逃し配信(1週間)
ニュース	月～日	12:00	同時配信・見逃し配信(1週間)
ニュース7	月～日	19:00	同時配信・見逃し配信(1日)
クローズアップ現代	月～水	19:30	同時配信・見逃し配信(1週間)
首都圏ニュース845	月～金	20:45	同時配信
ニュースウオッチ9	月～金	21:00	同時配信
時論公論	月～金	23:30	同時配信
ニュース・気象情報	月～金	23:40	同時配信
国際報道 2024	月～金	23:45	同時配信・見逃し配信(1週間)
ニュース・気象情報	土	20:55	同時配信
サタデーウオッチ9	土	21:00	同時配信
ニュース	日	6:00	同時配信
さわやか自然百景	日	7:45	同時配信・見逃し配信(1週間)
小さな旅	日	8:00	同時配信・見逃し配信(1週間)
日曜討論	日	9:00	同時配信
ニュース・気象情報	日	20:45	同時配信

# 民間放送・CATV事業者との連携①

- 毎年、特集番組として、民放・CATVが制作した番組のうち、コンクールで受賞したものなどの提供を受け、英語化して放送
- 放送法第26条に基づく民放との連携の一環として、2009年度より実施
- 番組の英語版は、制作した事業者に還元しており、国際コンクールへの応募時などに利用されている

## 【地域民放・CATV事業者の受賞番組英語化】2023年度放送実績

\*「Broadcaster's Eye」として放送



放送日	放送時間	タイトル	制作事業者	番組コンクールの受賞歴
7/1(土)	9:10~9:57	「太一の光～全盲の少年 7年間の記録～」	長野放送	*2022年「日本民間放送連盟賞」特別表彰部門 青少年向け番組 優秀賞
8/26(土)	10:10~10:54	目撃者f「消えないアラーム～医療的ケア児 命つないだ先に～」	福岡放送	*2022年「日本民間放送連盟賞」特別表彰部門 青少年向け番組 優秀賞
11/4(土)	9:10~9:54	「やったぜ！じいちゃん」	CBCテレビ	*2022年「日本民間放送連盟賞」番組部門 テレビエンターテインメント 最優秀賞、テレビ・準グランプリ
12/2(土)	9:10~9:39	「伊那まちの理髪店～吉田理容館～」	伊那ケーブルテレビジョン	*第49回 日本ケーブルテレビ大賞番組アワード NHK WORLD-JAPAN賞
1/27(土)	9:10~9:59	「ワタシ桑ノ集落再生人～限界集落で挑戦した11年～」	テレビ山梨	*2023年「日本民間放送連盟賞」番組部門 テレビ教養 優秀賞
2/17(土)	10:10~10:59	「口福の献立～お腹と心を満たす嚥下食～」	山形放送	*2023年「日本民間放送連盟賞」番組部門 テレビ教養 優秀賞

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟主催の「日本ケーブルテレビ大賞」に、NHKよりNHK WORLD-JAPAN賞を授与。毎年、受賞作品をNHKで英語化し、NHKWORLD-JAPANで放送している。

「第49回日本ケーブルテレビ大賞番組アワード」贈賞式の様子

# 民間放送・CATV事業者との連携②

- 近年は、NHK地域放送局と連携して当該地域の魅力や文化を伝える番組を集中的に発信する「地域特集」の編成時などに、当該地域のCATV事業者が制作したミニ番組等を英語化して放送
- 該当地域の自治体や、外国籍従業員を雇用する企業、在留外国人などにもPR活動を実施
- NHK地域放送局と地域CATV事業者との連携強化にも繋げている

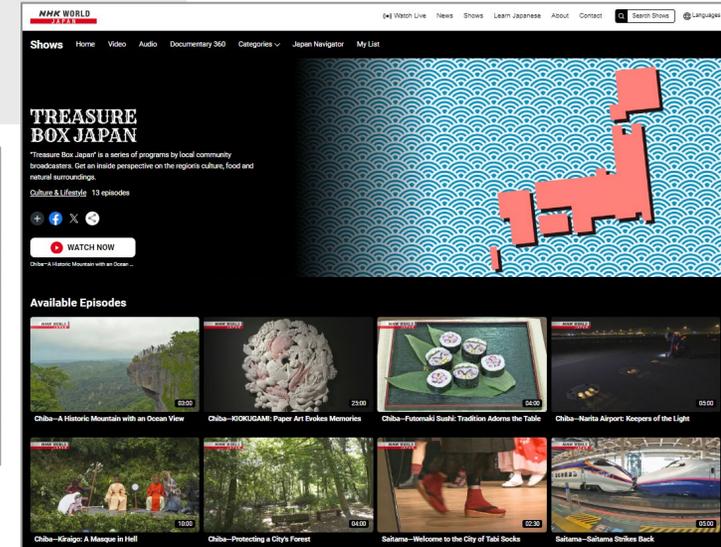
## 【地域特集に合わせたCATV事業者制作番組の英語化】

2023年度放送実績 \*「Treasure Box」として放送

「地域特集」エリア	日本語タイトル	長さ	制作会社名	初回放送日
広島	「海霧」	2分	MCAT	2023/5/1
	「家庭の味 漬物を探して」	5分	三次ケーブルビジョン	2023/5/2
	「日本酒で町おこし」	5分	東広島ケーブルメディア	2023/5/3
	「この地で生きる」	3分30秒	ケーブル・ジョイ	2023/5/4
	「陶芸家 今井政之」	5分	たけはらケーブルネットワーク	2023/5/5
	「宮島の四季」	2分	ちゅピCOM	2023/5/8
	「路面電車で行くひろしま世界遺産」	5分	ちゅピCOM	2023/5/17
	「瀬戸内しまなみ海道トレッキング」	5分	ちゅピCOMおのみち	2023/5/18
埼玉	「奇祭 しりあぶり」	3分	東松山ケーブルテレビ	2023/11/6
	「伝統を受け継ぐ越生うちわ」	3分30秒	ゆずの里ケーブルテレビ	2023/11/7
	「長い歴史を持つ狭山市入間川七夕まつり」	3分15秒	狭山ケーブルテレビ	2023/11/8
	「鉄道の街 大宮」	5分	ジェイコム埼玉・東日本	2023/11/9
	「足袋の街 行田」	2分30秒	行田ケーブルテレビ	2023/11/10



NHK WORLD-JAPAN「地域特集」チラシ



「地域特集」エリア	日本語タイトル	長さ	制作会社名	初回放送日
千葉	「市民が守る森～こんぶくろ池自然博物館」	4分	ジェイコム千葉	2024/2/3
	「800年の鬼舞～地獄劇・鬼来迎」	10分	広域高速ネット二九六	2024/2/10
	「壮観・夜の成田空港」	5分	広域高速ネット二九六	2024/2/10
	「太巻き寿司 梅」	4分	いちほらケーブルテレビ	2024/2/10
	「和菓子x和紙～KIOKUGAMI」	25分	広域高速ネット二九六	2024/2/17
	「絶景・鋸山」	3分	広域高速ネット二九六	2024/2/17

# 外部制作事業者との連携

- 関連団体を通して、外部制作事業者からも多彩なコンテンツ提案が寄せられている
- 外部制作事業者によるコンテンツは国際放送を通じて広く世界の視聴者に親しまれている

## 【外部制作事業者制作・定時番組】2023年度実績

タイトル	内容
Asia Insight	アジア各地の「今」を伝えるドキュメンタリー。
CYCLE AROUND JAPAN	外国人レポーターが、四季折々の美しい自然と人々の営みに触れながら、自転車で日本各地を巡る。
CYCLE AROUND JAPAN Highlights	人気番組「CYCLE AROUND JAPAN」の27分版。
Trails to Oishii Tokyo	世界中の食材が集まる東京の市場での食材との出会いをスタートに、各地の生産現場を訪れ、日本の食文化の奥深さと多様さを探求する。
Zero Waste Life	昔からモノを大切に慈しむMOTTAINAI精神を育んできた日本。今、地球規模で求められている「捨てない暮らし」を実践する人々を各地で取材し、世界に発信する。
ANIME MANGA EXPLOSION	2023年度に開始。海外でも認知度の高いアニメ・マンガ作品とその制作の舞台裏を紹介。



## 【外部制作事業者制作・特集番組】2023年度実績



カメルーン出身の漫画家・星野ルネさんが日本で暮らす外国人の子どもたちを訪ねる番組「Rene Goes to School」、日本各地の駅弁の魅力を紹介する番組「Ekiben JAPAN」、雄大な景色とハイキング文化を伝える「Let's Trek Japan」など、多彩なコンテンツを発信

## 国際戦略調査の結果(調査地域7か国9都市平均)

		2021		2022		2023	
		2Q	4Q	2Q	4Q	2Q	4Q
四半期リーチ率※1	四半期リーチ率	16.6	15.9	17.0	15.5	14.6	14.7
	放送リーチ者	10.2	9.2	9.8	9.0	9.9	10.2
	配信リーチ者	14.0	13.7	14.9	13.4	11.7	11.8
日本の理解度※2	四半期リーチ者	86.5	85.9	86.4	85.4	84.3	84.9
	放送リーチ者	88.0	87.0	87.2	86.6	84.9	85.3
	配信リーチ者	87.7	87.9	88.1	87.2	86.9	87.1
	非四半期リーチ者	48.8	48.9	49.0	47.9	48.1	48.3

四半期の間に国際放送を見た人と、見ていない人とは、日本への理解度に有意差が生じている

○は前期、前年同期と比較してともに有意に増加した項目、○は前期、前年同期と比較してともに有意に減少した項目(今期はなし)

※1:四半期リーチ者はNHKのテレビ、ウェブサイト・アプリ、ラジオのほか、外部プラットフォーム(動画等投稿サイト、SNS等)での視聴者を指す  
また、2023年度2Qより、動画等投稿サイト、SNSはNHKアカウントでの視聴者に限定して集計

※2:「日本の理解度」は「日本全般」、「国民性」、「政治面」、「経済面」、「文化面」の5指標の平均値  
出所)2024年1月11日~2024年2月12日実施のインターネット調査結果。 調査範囲(7か国9都市):ワシントンDC:1,023 ニューヨーク市:1,024  
ロサンゼルス:1,028 タイ:1,857 インドネシア:1,874 シンガポール:1,850 ベトナム:528 イギリス:1,847 フランス:1,842

出典:  
2023年度 第4四半期  
業務報告

リーチ率を調査地域別に見ると、アジア各国の数値が高く、続いて北米(アメリカ各都市)、欧州各国の順となっている

## 2023年度 海外コンクールにおける国際放送番組の主な受賞実績

「**Women on the Front Line: 15% of Japan's Politicians**」(「立つ女たち ～女性議員15%の国で」)  
2023 AAA(アジアン・アカデミー・クリエイティブ・アワーズ) ニュース・時事番組部門 最優秀賞



「**Art is Our Voice**」(「戦禍のウクライナ国立バレエ」)①  
2023 AAA音楽・ダンス番組部門 最優秀賞 / 国際エミー賞 アート番組部門ノミネート

「**Digital Eye Ukraine: The New Satellite War**」(「デジタル・ウクライナ」)②  
28th アジア・テレビ賞 ドキュメンタリーシリーズ部門 最優秀賞  
2023 ワールド・メディア・フェスティバル ニュース:調査報道部門 銀賞



「**FINDING SATOSHI**」(「謎の日本人サトシ～世界が熱狂した人探しゲーム～」)  
2023 ワールド・メディア・フェスティバル エンターテインメント(ドキュメンタリー)部門 金賞  
2023 ニューヨーク・フェスティバル ドキュメンタリー:論評・視点部門 銅賞



「**The Unknown Master of Restoration**」(「ゴッドハンド 闇より来たる修復師」)  
2023 ニューヨーク・フェスティバル ドキュメンタリー:伝記・プロフィール部門 金賞

「**BUZZ CREATORS: Hacking a New Genre Director Hori Takahide**」③

(「映画監督 堀貴秀 たった一人の映像革命」) 2023 ワールド・メディア・フェスティバル ドキュメンタリー:バイオグラフィー部門 金賞

ご検討にあたっては、下記の点等にご留意の上、中長期的な視点から、丁寧な議論をお願いします

## 【視聴環境の変化への対応とコスト負担の軽減】

- 世界で放送からネット配信へのシフトが進む中、NHKも積極的にネット配信に取り組んでおり、従来の放送（テレビ・ラジオ）中心の送信網からネット併用型の送信網へのシフトを進めている。
- 現在は放送・ネット両方で世界をカバーしているが、基幹衛星による放送を受信するには大型のパラボラアンテナが必要で、個人受信は限定的。費用を抑制しながら、視聴者の利便性向上を図り、発信力強化とリーチ拡大をめざすには、地域の特性等に合わせたより効率的な送信網構築が必要。活発なご議論をお願いしたい。

## 【国際放送等の将来像】

- NHKの国際放送は報道番組の比率が高く、ニーズも高い。一方で報道以外にも多彩な番組を放送し、民放・CATVとの連携を進めるなど、日本のコンテンツ発信に積極的に取り組んでいる。
- 国際放送等の将来像について議論するにあたっては、現在NHKが果たしている役割、そしてテレビ国際放送と同じ波で放送している「オールジャパン」のJIBの役割を考える必要があり、その際には、両者の取組、民放等・広告主のニーズといったものを踏まえることが必要と考える。
- NHKは、自らの編集権の中で「日本の視座」発信に積極的に取り組む考え。国内・国際連携の推進も含め、コンテンツの充実に努めている。

## 【財源の在り方（広告導入の検討）】

- NHKへの広告導入を検討するのであれば、広告を導入する目的、JIBの役割、広告主のニーズ、制度面（NHKの目的、国際放送関係の諸規定、広告放送を禁止する放送法第83条との関係等）の検討が必要と考える。
- 特に、広告による「オールジャパン」の取組については、これまでJIBが担ってきていることから、JIBが果たして来た役割を十分に整理した上で議論することが必要と考える。
- NHKは、報道番組や多彩な番組を放送・配信するという役割を担っている。その役割を考えれば、主に受信料を財源として業務を行っている現在の形態は適切ではないか。

## 【外部制作比率の目標設定】

- 衛星放送において外部制作比率が目標設定された経緯とは異なる点を十分に踏まえて検討すべき。衛星放送は、現在の衛星放送における外部制作比率の目標は、「基幹放送普及計画」において、衛星放送のうち1波が「外部の事業者の企画・制作能力を放送番組に活用し、過去の優れた文化の保存並びに新たな文化の育成及び普及を促進することを目的とする総合放送」とされたことから設定されたもの。仮に目標設定の要否について検討を行うのであれば、まずは、目標設定はNHKの業務に制約を課すものであること、国際放送の目的をどのように考えるのか、法令等の中でどのように位置づけるのかなどの議論を踏まえ、その要否について検討する必要があるのではないか。
- 外部制作番組については、テレビ国際放送では放送される時間枠が衛星放送と比べて少ない中で、既に相当数の番組がNHKの編集権の中で採択・放送されている。目標設定は、外部制作番組以外の番組の採択への制約となるため、競争力強化という目的に資するものかの検討も必要ではないか。

### 3. NHKの国際共同制作の取り組み

- 複数の放送局や制作会社が企画段階からアイデアを出し合い、番組のねらい、構成、演出、スケジュールなどに合意しながら、協力して番組を作る手法。
- 規模の小さいヨーロッパの公共放送が協力し合い番組をつくる過程で発展してきた。
- 今では、巨額の予算を必要とする超大型シリーズやドラマ、世界的に関心の高いテーマを扱うドキュメンタリーを協力して制作する手法として、世界中で広く一般的に用いられている。

# 国際共同制作の具体例① 「日本関連」



Co-production NHK/ Gedeon Programmes

## フロム・ザ・スカイ～空から見た日本～

国際共同制作：Gedeon Programmes（フランス）  
2019年放送



Co-production NHK / ARTE France

## 新・映像詩 里山

国際共同制作：Arte（フランス） 2022年放送



Co-production NHK/ Cineric Creative

## ノーナレスペシャル 私の小学校 ～ “新しい日常” 一年の物語～

国際共同制作：Cineric Creative(アメリカ)、フランス  
テレビジョン(フランス)、YLE(フィンランド)  
2022年放送

# 国際共同制作の具体例② 「科学・自然」



© NHK / NEP / Discovery Channel

NHKスペシャル「世界初撮影！深海の超巨大イカ」

国際共同制作：Discovery Channel（アメリカ）/ NEP 2013年放送



Co-production NHK / Bonne Pioche

NHKスペシャル シリーズ 古代遺跡透視  
「大ピラミッド 発見！謎の巨大空間」

国際共同制作：Bonne Pioche（フランス）2017年放送



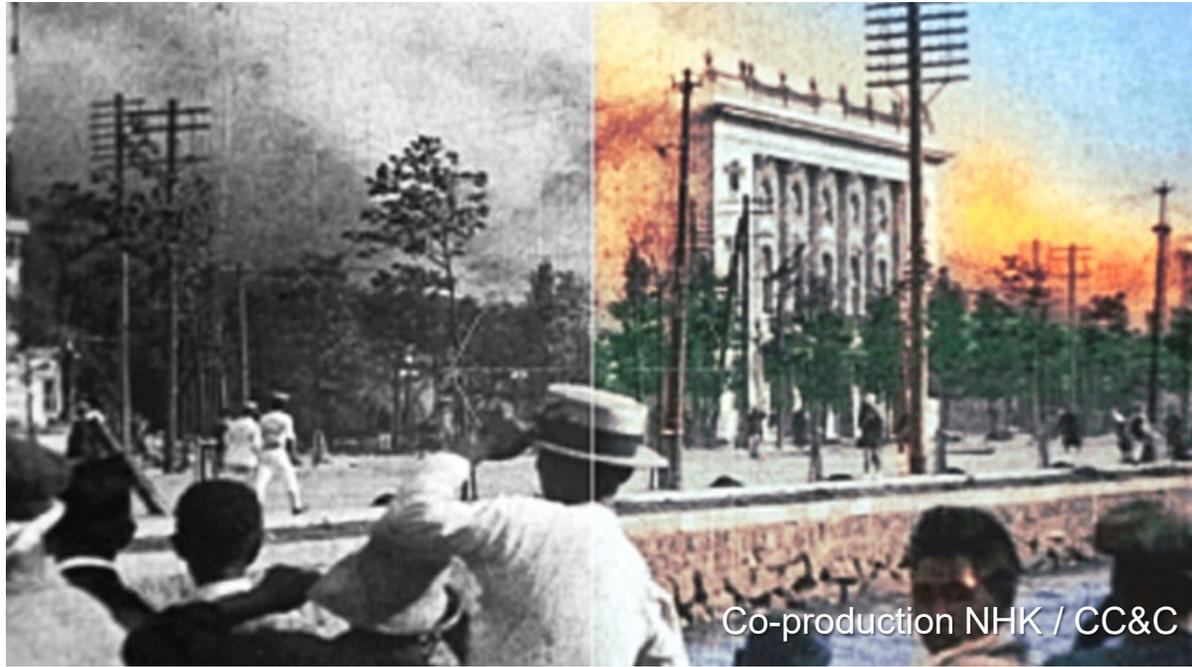
Co-production NHK / Bonne Pioche Television / Curiosity / AUTENTIC

NHKスペシャル「恐竜超世界2」

国際共同制作：Bonne Pioche（フランス）、Curiosity(アメリカ)、AUTENTIC(ドイツ)

2023年放送

# 国際共同制作の具体例③「歴史・文化」



Co-production NHK / CC&C

NHKスペシャル

「カラーでよみがえる東京～不死鳥都市の100年～」

国際共同制作：CC&C（フランス）

2014年放送



Co-production NHK / Berlin Phil Media

プレミアムシアター

小澤征爾指揮 ベルリン・フィルハーモニー  
管弦楽団演奏会（1986年）

国際共同制作：ベルリンフィルメディア（ドイツ）

2024年放送

# 国際共同制作の具体例④ 「次世代・教育」



Co-production NHK / ABU

## ABUこどもドラマ

国際共同制作：ABU（アジア太平洋放送連合）  
2004年～2023年放送



©NHK / NED / JCC

## 大科学実験

国際共同制作：カタール、南アフリカ、ドイツ、スウェーデン、韓国、台湾  
2010～2021年放送

## FACES

How I survived being bullied

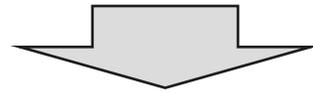


## FACES いじめをこえて

国際共同制作：ドイツ、スペイン、クロアチア、メキシコ、南アフリカ、タイほか  
2017～2023年放送

## 【国際共同制作のメリット】

- 1) 特別な場所、モノ、情報、技術のアクセスを得ることができる
- 2) 制作費を効率的に利用することができる
- 3) コンテンツの“世界標準化”と“ローカライズ”
- 4) 国際人材の育成（クリエイターとプロデューサー）



- 国際共同制作は、日本のコンテンツ・公共放送NHKならではの番組の世界への発信、コンテンツ制作力の強化に大きく貢献
- 世界における視聴環境の変化に関わらず、国際共同制作によるコンテンツ発信は今後も重要な役割を果たし続ける

NHKは、これからもコンテンツ戦略の大きな軸の1つとして、国際共同制作に積極的に取り組んでいく

## 4. おわりに

- 本日は、前回会合における内山構成員のプレゼンにおける「編成」に該当するものとして現在の国際放送等を通じた国際発信を、「制作」の事例として国際共同制作を通じた国際発信について、それぞれご説明させていただきました。また、今後のご議論の前提となる現状把握に資するよう、NHKの現在の取組等に関する具体的な情報・エビデンスを示させていただきました。
- 国際放送・国際発信へのリーチを高めていくためには、まずはプレゼンスを高めていくことが先決と考える。
- NHKはこれからも、国際放送・国際発信へのリーチを一層高めるべく努力しながら、中期経営計画に基づき、世界に「日本の視座」をお届けしてまいりたい。
- 繰り返しになるが、様々な課題を検討するにあたっては、最新の世間の動き、日本の情報に対するニーズ、広告出稿に対するニーズ等を踏まえた議論が必要と考える。中長期的な視点も踏まえた、丁寧な議論をお願いしたい。

***NHK***